



会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表取締役社長 山本 良一
 お問合せ先 経営戦略統括部
 グループ広報・IR担当
 TEL 03-6895-0178

2014年6月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	6月度	3～6月度累計
百貨店事業	▲ 11.0 (▲4.8)	▲ 1.4 (2.5)
パルコ事業	▲ 0.1	2.8
卸売事業	▲ 9.9	▲ 3.7
クレジット事業	16.5	20.3
その他事業	▲ 2.4	9.4
連結合計	▲ 8.2	0.7

(注)百貨店事業合計の()内は、松坂屋銀座店(銀座再開発・建替えのため2013年6月30日営業終了)を除く既存店ベース。

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

- ・6月度の百貨店事業の売上高は、土曜日が対前年▲1日減であったものの、宝飾品の売上が対前年1桁減まで回復し、リビング関連商品の売上も大きく改善するなど、6月27日からスタートしたクリアランスセールを含め各商品分野で引き続き回復傾向が見られたことから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年▲4.6%減、百貨店事業合計では同▲4.8%減となり、前月よりもさらにマイナス幅を縮小させた。

2) パルコ事業

- ・今期から新たな取り組みとしてスタートした6店舗でのビアガーデン開設などの好材料もあり、中旬までは前年を上回る推移であったものの、例年より早い梅雨入りや週末の悪天候などの影響もあり主力のファッション衣料雑貨が苦戦したことから、パルコ事業は対前年▲0.1%減となった。

3) その他

- ・卸売事業の大丸興業は、化学品などが売上を伸ばしたものの、ホームセンター向け商材などが苦戦し、対前年▲9.9%減となった。
- ・クレジット事業のJFRカードは、大丸松坂屋百貨店のお得意様ゴールドカードのクレジット化による手数料収入の増加などが寄与し、対前年16.5%増となった。
- ・その他事業は、J.フロント建装の前年大型改装工事売上計上の反動減の影響により、対前年マイナスとなった。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

2014年6月度 百貨店事業 営業報告

1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	6月度		3～6月度累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	▲6.3	▲3.1	3.1	▲2.0
大丸 梅田店	▲4.3	▲3.6	0.8	▲2.0
大丸 東京店	3.2	0.9	7.2	0.3
大丸 浦和パルコ店	▲5.4	▲1.9	▲3.7	▲1.0
大丸 京都店	▲3.3	2.8	3.7	0.1
大丸 山科店	▲3.5	▲4.6	▲3.4	▲5.1
大丸 神戸店	▲2.7	▲0.3	6.0	▲0.9
大丸 須磨店	▲3.5	▲2.4	▲2.8	▲1.9
大丸 芦屋店	▲2.6	▲0.1	▲2.1	0.1
大丸 札幌店	▲4.4	▲8.1	1.1	▲6.0
松坂屋 名古屋店	▲3.3	▲8.7	4.6	▲5.3
松坂屋 上野店	▲20.3	▲18.2	▲6.5	▲7.3
松坂屋 静岡店	▲7.3	5.9	4.2	7.5
松坂屋 高槻店	▲4.9	▲3.5	▲0.3	▲1.5
松坂屋 豊田店	▲4.2	▲1.2	▲0.9	1.7
大丸松坂屋百貨店合計	▲4.6	▲3.3	2.8	▲2.0
博多大丸	▲5.1	▲5.7	2.3	▲2.4
下関大丸	▲9.1	▲5.8	▲2.2	4.5
高知大丸	▲7.8	▲7.7	▲3.2	▲3.7
百貨店事業合計	▲4.8	▲3.6	2.5	▲1.9

(注)合計は、松坂屋銀座店(銀座再開発・建替えのため2013年6月30日営業終了)を除く既存店ベース。

前年に松坂屋銀座店を含めた6月度売上高の対前年増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 対前年▲11.6%減、百貨店事業合計 同▲11.0%減。

前年に松坂屋銀座店を含めた3～6月度累計売上高の対前年増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 対前年▲1.6%減、百貨店事業合計 同▲1.4%減。

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	6月度	3～6月度累計
紳士服・洋品	▲5.7	▲0.2
婦人服・洋品	▲4.2	3.4
子供服・洋品	▲2.9	2.4
その他の衣料品	▲8.7	5.2
衣料品計	▲4.6	2.8
身 回 品	▲4.9	2.3
化粧品	▲5.5	9.6
美術・宝飾・貴金属	▲6.7	5.4
その他雑貨	34.5	16.6
雑 貨 計	▲3.0	8.0
家 具	▲11.5	21.1
家 電	▲15.4	▲7.4
その他の家庭用品	▲4.2	4.2
家庭用品計	▲6.4	7.3
生 鮮	▲3.8	▲2.5
菓 子	▲2.2	1.7
惣 菜	▲1.4	2.4
その他食料品	▲6.7	1.3
食料品計	▲3.4	1.0
食堂・喫茶	▲5.4	▲5.4
サービ	▲12.6	▲5.2
そ の 他	▲10.7	▲1.1
合 計	▲4.6	2.8

(注)松坂屋銀座店(銀座再開発・建替えのため2013年6月30日営業終了)を除く既存店ベース。

3. 売上高概況

婦人服・洋品は、ラグジュアリーブランドが2ヶ月連続で対前年1桁減となり、減少率も前月度から縮小した。また紳士服・洋品、子供服・洋品などを合わせた衣料品のマイナス幅は、クリアランスセールスタートもあり、前月度からさらに縮小した。雑貨は、美術・宝飾・貴金属の減少率が大幅に改善したほか、消費増税前の駆け込み消費で大きく売上を伸ばした化粧品でも減少率は縮小した。なお3～6月度累計の商品別売上高増減率は、ほとんどの部門でプラスとなった。